

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第6回高田区地域協議会分科会（第2分科会）

2 議題

（1）協議（公開・非公開の別）

①高田区における災害（大雪、水害、地震）時の対応について（公開）

3 開催日時

令和4年3月7日（月）午後6時30分から午後7時40分まで

4 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室、第6相談室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委 員：飯塚よし子（副座長）、澁市徹（副会長）、杉本敏宏（座長）、廣川正文

（欠席：西山要耕）

・事務局：南部まちづくりセンター 小池係長

8 発言の内容（主な発言の要旨）

—次第3協議（1）高田区における災害（大雪、水害、地震）時の対応について—

【杉本座長】

・市から町内会長あてに配布された「内水ハザードマップの案」を配布。

これは2月25日に市の下水道建設課が町内会長へ配布したものであり、3月9日までに内容確認の依頼があった。3月下旬までに完成させ、市ホームページに載せ、4月下旬に広報と一緒に町内会へ配布するとのこと。本日は私の判断で配布した。高田全体のマップをもらっても、と思う。もう少し町内のところが分かるように大きくなればよいと言おうと思っている。市がこういうものを作っているという

ことで、4月か5月の全体会で担当課から来てもらい、説明してもらうのがよい。

【澁市副会長】

数年前に配布された外水ハザードマップと違うということは、普通の人には分からない。そこから説明してもらうとよい。

【杉本座長】

最終的には町内ごとに説明会をしないといけないだろう。

【澁市副会長】

北城高校の北側は土地が低くなっている。上越高校のあたりも冠水する。このマップは実績ベースだろう。気を付けて見ないといけない。

【杉本座長】

町内会長に平成14年以降に水がついたところを書き出すよう照会があり、その結果がこのマップに反映されている。町内会長が承知していないものもあるだろうし、内水と外水が混在しているものもあるかもしれない。

【澁市副会長】

第1段階としてはよいこと。国土交通省から作るよう通知が出ていた。

【杉本座長】

できれば4月か5月に市担当課から来てもらい説明してほしい。次の全体会で提案したい。

さて、2月14日に行った防災士、民生委員との意見交換会で出た意見をまとめた。本日は事務局が作成した意見交換会の要旨、澁市副会長が作成したまとめがある。

- ・意見交換会の要旨により、趣旨説明の部分を説明。

【小池係長】

- ・意見交換会の要旨を説明。

【澁市副会長】

防災士は雪ではあまり活動をしていない。民生委員が雪の中、弱者を助け活躍した。支援対象者はだんだん増えていくのだろう。

【杉本座長】

民生委員一人が担当するのは、約100世帯と聞いている。しかし、最近はあまり

そういうことを聞かない。そもそもなり手がいない。

【飯塚副座長】

今は民生委員を増やさないようだ。

【杉本座長】

国が金を出したくない。

【澁市副会長】

そのような中、自助、共助と言っている。

【杉本座長】

民生委員と町内会長の連携がうまくなっているとスムーズにいく。

【飯塚副座長】

今、民生委員は一生懸命だ。

【澁市副会長】

村田委員は民生委員で、自ら要援護世帯の雪下ろしをしたとのことで驚いた。独居高齢者の安否確認をしたとのこと。防災士がそういうことをすればいい。町内会長を中心に連携する。

意見交換会の要旨を見て各自が大事だと思うものを抜き出し、次回に持ってくることを提案する。私は抜き出してあるので、それに付け足す。防災士会女性部によるアンケート、第2地区民生委員児童委員協議会のまとめも参考にする。意見交換会での民生委員の話で、災害救助条例適用時の手続を市は先に要援護世帯に電話し、後から民生委員へ連絡したので、要援護世帯から民生委員が聞かれても答えられなかったことが印象に残っている。職員は書類を民生委員宅に直接届けたというが、DXの時代であり、一斉メールを有効に使えばいい。

【杉本座長】

PDFで送ればスマートフォンからプリンターで印刷できる。

【廣川委員】

写真に撮って送ればいい。

【澁市副会長】

容量が大きくなる。メールの有効活用など、民生委員への説明会が年1回は必要だ。

【杉本座長】

民生委員でもできる人とできない人がいる。いくつかの方法を示さないといけない。

【澁市副会長】

意見交換会の要旨などから各自抜き出したものを杉本座長へ提出し、杉本座長がまとめ、次回の分科会に臨む。防災士会女性部によるアンケートにいいことが書いてある。買い物、買いだめのことも書いてある。10日くらいの備蓄は必要だろう。

【杉本座長】

コンビニで買っているような人は困る。

【澁市副会長】

昨冬は情報伝達がうまくいっていなかった。意見交換会で民生委員が防災ラジオが使われていないと言っていた。隣の町内の防災無線が聞こえるときと聞こえないときがある。

【杉本座長】

風向きによる。

【飯塚副座長】

私のところも聞こえない。

【澁市副会長】

各戸にある防災ラジオを活用する。

【廣川委員】

試験放送は大きな音だ。あれで伝えれば皆に伝わる。

【澁市副会長】

うるさいと苦情が入っている。FMじょうえつで何時にお知らせがあると伝えればいい。

【飯塚副座長】

有線放送はいい。

【杉本座長】

加入者はまばらで、農家の人が多く加入している。

【澁市副会長】

町家の方ではほとんど加入していない。

では、先ほど言ったように各自抜き出してほしい。各自10項目くらい抜き出す。最低でも3項目。次回全体会（令和4年3月22日開催）に杉本座長に渡し、杉本座長がまとめる。

防災士が雪を災害と認識していないのは問題だと思う。

【杉本座長】

そう思う。

閉会を宣言。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL: 025-522-8831 (直通)

E-mail: nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。